

福徳新聞

（毎月廿二日）一回
定価一紙十銭 壹ヶ月廿銭
定額郵税五厘
廣告料 雑報欄五十銭増
発行所 福徳新聞社
市島 範三
福徳新聞社
福徳新聞社

ハリス
局藥邊野山
目丁五町平

順調なら明年一月

磐城銀行の復活

和議法による調査委員から 開始決定し管財人に移る迄

平町磐城銀行の休業を和議局の意見が是と認められた言はれてゐたのに、法による復活に決し平町支店上で和議開始を決定し更に同申請中であつたが此の和議管財人を定めて債権理委員として平町辯護士眞出から集會並に和議條件に木恒、福島市會計士本田作、移り管財人は前記整理委員五郎兩氏任命され十一月の調査を土臺として所記の二日までに同銀行に對する運ぶをつけることになるの綿密なる資産状態を調査するである順調に進捗すれば明ることになつたが向後は同年一月末頃までには整理委員の報告書により司法當れるでなからうかと。

平民宰相

原敬氏を憶ふ

錦風生

本月の二十四日は在野黨と山本悟岳師に「私は一度外して、最も失意の地位に出ると歸宅する迄は命が、政友會の政談演説會を有か無かわからぬ人間だ開催して、大に倒閣の鋒火が、死んだ時は此處に葬つてを揚ぐる筈である記者は政友會から宜しく頼む」と言友會員にあらざるも政友會つて笑ひつゝ選定した所で今日の逆境には同情して居る、その笑ひを永久に斷る、茲に政友會員諸氏の土つた彼の肉體がその言葉通り氣を發奮せしめたく平民宰相に今歸て来た灰色の雲雲相の最期を書いたのである
原 敬葬儀の日の盛岡は、朝からの雪だつた満目白燈、平民宰相の遺骸を葬るべき大慈寺の墓地は彼が大正十年夏の墓參の折に住職の様に見えるぢやないかと

日原首相は京都に開かるべき政友會近畿大會に臨むべく芝の自邸から自動車に馳つて東京驛口へ着いた、まだ七時卅分の第九列車には間があつたので高橋驛長に迎へられて、驛長室へ入りそこへ先着の中橋文相元田遷相などと暫く歓談したが時既に彼が背後には死の白刃が迫つて居た驛札口の大鐵柱の蔭にマントを着た十八九才の青年が烏打帽を目深に被つて先程から佇んでゐた。

第一區長

木澤常松君 奉仕的運動

平町は近年膨脹して行く事既に彼が背後には死の白刃が迫つて居た驛札口の大鐵柱の蔭にマントを着た十八九才の青年が烏打帽を目深に被つて先程から佇んでゐた。

四聞八觀

自然の美神秘的な深山幽谷には全山紅葉するの秋が訪れた

紅葉の値を讚美する人々の心は果して多幸の士の心乎

都會中心主義の病者も自ら活動を見よ

然天然のバラタイスを捨てる活動を見よ

銀行と謂ひ大に改善して金融界の圓滿たらしむるは目下最大の急務だ

銀行と謂ひ大に改善して金融界の圓滿たらしむるは目下最大の急務だ

嚴然として暴利非難的となつて居るは醫務の諸科である、藥品は半値であるにも不拘社會の要求は斷乎として容れぬ

嚴然として暴利非難的となつて居るは醫務の諸科である、藥品は半値であるにも不拘社會の要求は斷乎として容れぬ

晩秋の朝夕一入りに冷寒を覺ゆ、各人健康に留意せよ、健康は無限の資本であり至大の幸福である

晩秋の朝夕一入りに冷寒を覺ゆ、各人健康に留意せよ、健康は無限の資本であり至大の幸福である

分業に據つて匡正

分業に據つて匡正

醫學の社會化

醫學の社會化

醫藥分業論

醫藥分業論

治療の社會化

治療の社會化

醫學の社會化

醫學の社會化

醫藥分業論

醫藥分業論

治療の社會化

治療の社會化

かね」と首相も移さつて特別改札口にあつた大鐵板の背後から猿の如く黒い人影が躍り出でたと思ふと正面から原首相の右半身にトツト衝き當つた。

其時足並の亂れた首相の身体は既に中橋文相小川總裁の手に支へられて後に墜れ

分業に據つて匡正 正せらる可き醫弊の數項を

以上數回數項に涉つて述べ来た如く、現今の醫弊には種々なる諸弊が附隨し

然るに醫藥分業が實施される事になりますれば茲に

此の點から謂つても速急は必ず處方箋が患者に交附

銀行と謂ひ大に改善して金融界の圓滿たらしむる

嚴然として暴利非難的となつて居るは醫務の諸科である、藥品は半値であるにも不拘社會の要求は斷乎として容れぬ

晩秋の朝夕一入りに冷寒を覺ゆ、各人健康に留意せよ、健康は無限の資本であり至大の幸福である

分業に據つて匡正 正せらる可き醫弊の數項を

以上數回數項に涉つて述べ来た如く、現今の醫弊には種々なる諸弊が附隨し

然るに醫藥分業が實施される事になりますれば茲に

此の點から謂つても速急は必ず處方箋が患者に交附

銀行と謂ひ大に改善して金融界の圓滿たらしむる

東京たより

松村生

神聖なる裁判法廷突然共産黨の演説會場と化す何者の責ぞ

昔は司法官の石頭が問題に、殊に京都の化石事件は吾人の耳底未だ記憶を新たにす

然るに、桃色化或ひは鮮紅色の自由主義化が今日の秋官諸君の少くも幾部分かの問題でないかどうと思ふ

「すらすらと並んだ十何人の辯護人孰れも社民が大家か労働者の無産黨の所屬である

程度こそあれ、彼等が廣義に於ける共産主義者である事實を見るべきだ

被告吼け、傍聴人わめき殊に貴地常磐炭礦に於ける改革運動の大リーダーと満天下に名をせし彼の山代吉宗氏の母君等が母性愛を發揮して、野次聲

援するかの如きは前代未聞一大珍妙事なりと

而して其醜狀を低級紙は筆を揃えて〇〇の萬歳を報導するとは世相は廻る乎

傍聴人が大半保釋中の共産黨員たるは論なし

提灯を持つ俗流紙亦或るは共産黨の外廓ならざる乎否か

山代吉宗氏を議長として神聖なる法廷に於て被告會議を聞く、彼れの結束と決議に曰く統一審議に非ざるは口を緘すと

此の光景を東京各紙は一齊に大袈紗に宣傳する低級紙も復た、共産黨フアンなりし乎

帝都は去る日健康増進週間を決定し凡ゆる團體の活動は果して効果ありたる乎否やかである

御祭氣分鳴物入れは寧ろ弊害を生む

古人の言に曰く衣食住に足りて禮節を知れと

此の殺人的に深刻化せる帝都生活は、駈進法の講究より一片パンと一椀の薄き味噌汁を求めんと

吾人は空気のみによりに活けるものに非ずと、唯單に理實の生活を迫るのみ乎

補充計畫に關する兩省(大藏海軍)折衝開始さる

海軍は極力「政治的解決」とやらを忌避せよ

「政治的」に片付けられるやうなら、財部を辭めさせワザワザ安保が出る必要がなかつた筈、實にアホらしいか何々

補助計畫を常識的に解決する途は年度を延すことである、從來毎年八千八百萬圓づつ投じて居た軍縮は之を減する事だ

其額が減税になる事年度を延す案など明白に一つの陥穽だ、なし崩しで鼻がつくらなアンナ大騒ぎにはならなかつた筈だ本氣に聴きもしなかつたら

新聞の専賣所經營に四千萬の大枚を出す事との事而して一ヶ月の純益金が二百四十圓餘なる計算の由だ一ヶ年に二千六百八十圓の利益あるのです一枚幾らと云ふケチな齒入行商よりは儲かる事ですか一寸と御伺ひ申上げます、夫れとも三本位の玉代にホーキ一專問の幹事長が名譽でせうか(敵黨の有志)

誰れか野崎滿藏先生を腕の満藏と謂ふたか僕は共に共鳴するよ、所得調員の成績を見給ひ来秋の縣議戦は勿論大勝利だ僕は十二分に野崎先生を支持して歌ぬよ(内郷の青年)

うが老安から警告をし、て置き度いやうだ

一體減税々々つて國民の負擔がそれだけ軽くなるといふた假りに、餘金全部を減税に充てるとして國民一人當りの減税が一ヶ月バット一箱代位かしらないよ

減税呼はり明白に政府の欺瞞的宣傳さ何もかも知り抜いて居て之れをまことしやかに放送するも、復た精神心理を以ては居ないか

「一體幾十年になき豊穡の農村が困窮すると其眞情を發見するに苦しむ」有は無に「還元すれど無は「有に」酸化されざるを知らずや

米が安くて困ると農村は運去に重復せる資力の欠亡と支持力の皆無と據るか政府も農村も此の經濟政策を根本より樹立せよと申すのみ

結論は官民俱に苦痛を忍び得て回春の麗光に浴するであらう(一〇、二〇)

工場神奈川縣中郡平塚町須賀町三六〇

關東紡績株式會社平塚工場

募集従事人 河原寅藏

住所 福島縣石城郡平町久保町二番地

田久要吉

福島縣平町

蒲鉾 かつまあげ

折詰仕出し

例年の通り御用命を願上ます特に本年は時節柄大勉強を致します

平町二丁目

藤市蒲鉾店

電話三〇五番

書籍 雜誌 文房具

マルトモ 柴田書店

平町四丁目 電話二三四番 九〇五番

レシバー

よく某官吏が學者振つて刑法第何條を論じますが自己自體が〇〇を濫用せぬやうにと誤心配の粹な姐さんもあります(田町の女)

自動車は道路に夜間放置してあるがアレド道路防害にはなりませんか(小田員)

玉川村の某君が農村青年を煽動して立憲〇〇會支部なんて何の事たい亦た先日湯本でやつた演説會は何の醜體だよ(赤村憲男)

平町の電燈値下運動は永

遠に此の現世から葬られたのか賢明な町會議員諸公に借問す(立町の一労働者)

先日或る旗亭に僕等四人一杯傾けんとして登つたに御断りを喰たよ然し客面喰つた譯けたよ然し客商賣には〇〇たね(弓場の歸る人)

第三小學校の正門道路は六丁目の本通りより入るべきが正門なのです(一父兄)

田町の藝者がウローがあつた賜物か山形屋の〇子以下八名とは其受胎作用完全には驚くね(南町の石女)

「一體幾十年になき豊穡の農村が困窮すると其眞情を發見するに苦しむ」有は無に「還元すれど無は「有に」酸化されざるを知らずや

米が安くて困ると農村は運去に重復せる資力の欠亡と支持力の皆無と據るか政府も農村も此の經濟政策を根本より樹立せよと申すのみ

結論は官民俱に苦痛を忍び得て回春の麗光に浴するであらう(一〇、二〇)

平町田町 電話五二三番

高久病院

醫學士 高久 忠清

新瀉醫學士 赤羽 菊雄

藥劑士 佐竹 清

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話四六一番

御料理のんき

電話四六一番

平町五丁目 電話九番 一三九番

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

内科、小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科、梅毒、淋疾 市原三三男

皮膚 病

平町田町本通り

平町五丁目 電話二一四番

市原醫院

(入院隨時)

電話二一四番

平町田町 電話五二三番

高久病院

醫學士 高久 忠清

新瀉醫學士 赤羽 菊雄

藥劑士 佐竹 清

内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話四六一番

御料理のんき

電話四六一番

平町五丁目 電話九番 一三九番

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店

内科、小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科、梅毒、淋疾 市原三三男

皮膚 病

平町田町本通り

平町五丁目 電話二一四番

市原醫院

(入院隨時)

電話二一四番

平町五丁目 電話三三三番

越の家

電話三三三番

平町電燈番

磐城共濟會

(看護婦募集)

本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料 一日

一般 金二圓也

本會員 金一圓五十錢也

往診料 院長及び其他

本會員 金三圓也

一般 金二圓也

(平町内)

尚地方往診も之れに準じ低減致し候間此段申添候

(各科専門醫擔當)

内科 小兒科 外科

皮膚泌尿科 整形外科

内臓外科 産婦人科 女子泌尿科

耳鼻咽喉科 X光線科

物理學的診療科

院長 難波 睦

醫學博士 賀澤 忠治

本院 院

一、衛生試驗場(共濟)

一、病氣相談所(共濟)

一、救療所(病内)

▲救療申込まる、お方は當相談所へ御話し下さい。

昭和五年九月

平町電燈番

磐城共濟會

(看護婦募集)

本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料 一日

一般 金二圓也

本會員 金一圓五十錢也

往診料 院長及び其他

本會員 金三圓也

一般 金二圓也

(平町内)

尚地方往診も之れに準じ低減致し候間此段申添候

(各科専門醫擔當)

内科 小兒科 外科

皮膚泌尿科 整形外科

内臓外科 産婦人科 女子泌尿科

耳鼻咽喉科 X光線科

物理學的診療科

院長 難波 睦

醫學博士 賀澤 忠治

本院 院

一、衛生試驗場(共濟)

一、病氣相談所(共濟)

一、救療所(病内)

▲救療申込まる、お方は當相談所へ御話し下さい。

昭和五年九月

平町電燈番

磐城共濟會

(看護婦募集)

本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料 一日

一般 金二圓也

本會員 金一圓五十錢也

往診料 院長及び其他

本會員 金三圓也

一般 金二圓也

(平町内)

尚地方往診も之れに準じ低減致し候間此段申添候

(各科専門醫擔當)

内科 小兒科 外科

皮膚泌尿科 整形外科

内臓外科 産婦人科 女子泌尿科

耳鼻咽喉科 X光線科

物理學的診療科

院長 難波 睦

醫學博士 賀澤 忠治

本院 院

一、衛生試驗場(共濟)

一、病氣相談所(共濟)

一、救療所(病内)

▲救療申込まる、お方は當相談所へ御話し下さい。

昭和五年九月